



外国出張報告書

平成 26 年 9 月 1 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 5 月～7 月
3. 出張目的 雨水の効率的集水・利用試験及び移植時期別試験の準備・開始、
雨季水稲作付け前の土壌水分測定：C

4. 成果の概要

降雨の効率的集水・利用に関する試験圃場（ナムアン村 2 箇所、サワナケート県クッキー村 3 カ所）において、水稲区の移植及び集水区の陸稲の播種を行い、栽培試験を開始した。

各圃場に水位計、土壌水分計測機器を設置し、晩期移植区及び陸稲区において集水した降雨による早植え区及び水稲区への補給水量と、それによる田面水・土壌水の変化を観測した。また、移植時期と水稲の収量傾向を明らかにするため、ラオス農業研究センターとナムアン村において 4 つの異なる移植時期で水稲の栽培試験を開始した。

乾季の畑作収穫後の地下水位及び土壌水分の観測データから、4～5 月の降雨により概ね圃場容水量まで土壌水分が回復し、その後のまとまった降雨により田面湛水が生じることが明らかになった。昨年度成果に関する農家への説明会において要望された展示区をナムアン村に設け、早晩期の移植による収量変化についての試験栽培を開始した。